2013年3月24日 掲載原稿（土浦市）

シリーズ いばらき発見⑫

小野小町終えん伝説

――小町の里・土浦市小野

百人一首の「花の色は移りにけりないたづらに　我が身世にふるながめせし間に」で知られる小野小町（おののこまち）。

平安時代の女流歌人の一人であったと言われ、現代でも美しい人を「○○小町」と形容するほどです。

その生涯は秘密のベールに包まれており、出生地とされる秋田県では新幹線に「こまち」という名が付けられていたり、お米の銘柄に「あきたこまち」といったネーミングが付けられているのは多くの人が知るところです。

中世以降、能や歌舞伎、文学などで多く扱われているその小野小町が京の都を離れ、実家へ戻る途中に病に倒れ、土浦市の小野で亡くなったという伝説が残されています。



小野には「小町の腰掛石」などが残っています。

現在、土浦市と石岡市を結ぶ筑波山麓には朝日トンネルが開通しましたが、その土浦側のすぐそばに「小町の館」という観光施設があります。

ここは山のふもとに包まれた穏やかな場所で、「小町の館」のほかに大きな水車などがあり、常陸秋そばを食べることのできる「小町庵」なども併設された自然豊かなスポットになっています。

今年は新たな施設も誕生しました。春を迎えて桜の花々も咲きほころびます。筑波山観光などの合間に訪れてみる価値のある魅力あふれる場所です。

小町伝説に浸りながら、春うらうらを味わってみてはいかがでしょうか。



【問い合わせ】小町の館　TEL029-862-1002
【所　在　地】土浦市小野491
【アクセス】常磐自動車道土浦北ICからフルーツライン朝日トンネル入口土浦側そば

〈参考文献〉茨城県大百科事典（茨城新聞社編）

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社
本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5　☎029-225-1215（大代）　http://www.ibaraki-isuzu.co.jp